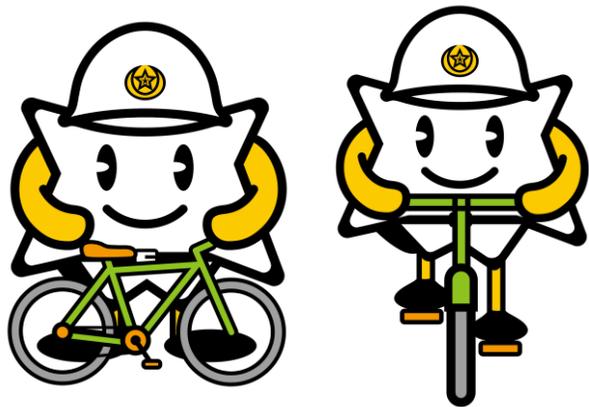


# 広島県内における 令和7年中の自転車事故の特徴



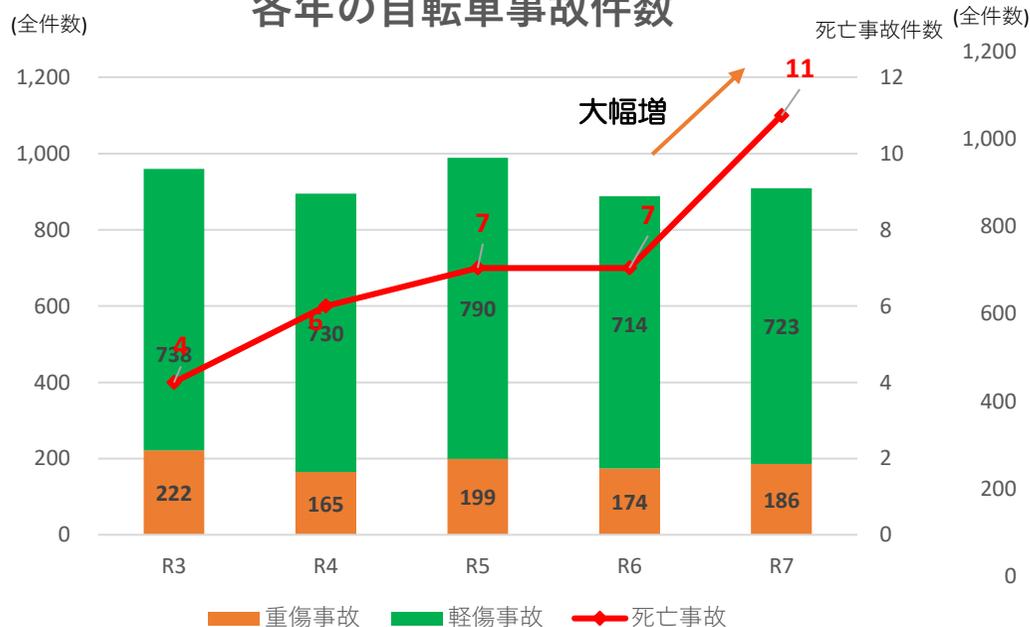
令和8年3月  
広島県警察本部  
交通部交通企画課

# ～ 自転車に関する人身事故の推移～

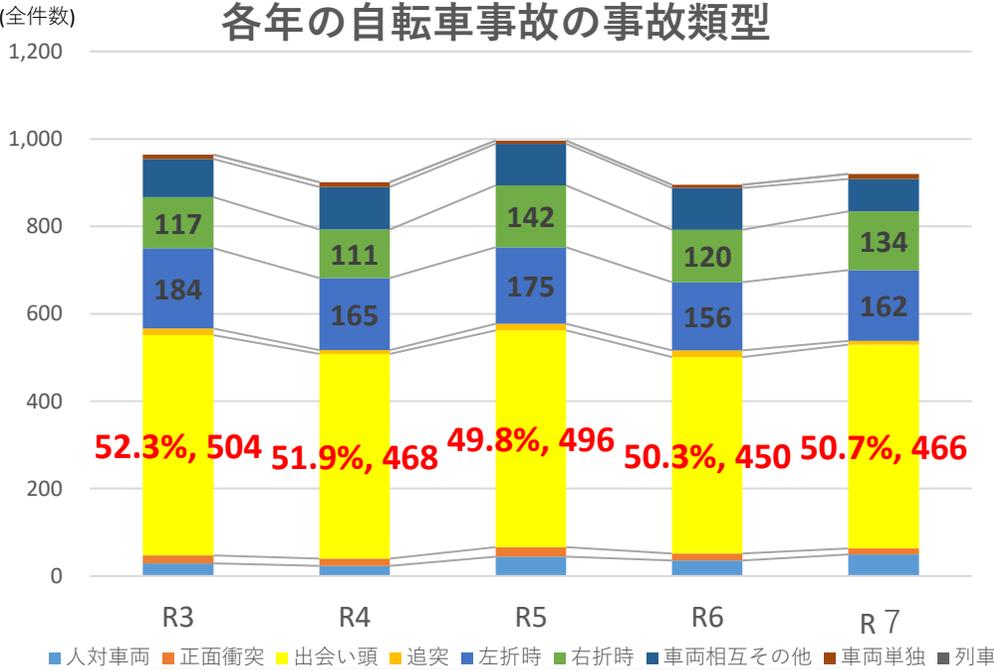
令和7年は、前年比で発生件数が増加した。  
 その中で、死亡事故については、前年比で4件増加し、過去5年で最も数が多かった。

自転車関連事故は約50%が出会い頭事故となる。

## 各年の自転車事故件数



## 各年の自転車事故の事故類型



(件)

	R3	R4	R5	R6	R7
死亡事故	4	6	7	7	11
重傷事故	222	165	199	174	186
軽傷事故	738	730	790	714	723
合計	964	901	996	895	920
自転車事故構成率	20.7%	20.9%	20.9%	20.3%	21.6%

■ 人対車両 ■ 正面衝突 ■ 出会い頭 ■ 追突 ■ 左折時 ■ 右折時 ■ 車両相互その他 ■ 車両単独 ■ 列車

	R3	R4	R5	R6	R7	(件)
人対車両	29	23	44	35	49	
正面衝突	18	17	22	16	14	
出会い頭	504	468	496	450	466	
追突	15	9	15	15	9	
左折時	184	165	175	156	162	
右折時	117	111	142	120	134	
車両相互その他	87	97	95	96	74	
車両単独	10	11	7	7	12	
列車	0	0	0	0	0	
合計	964	901	996	895	920	

※第1又は第2当事者が自転車運転者となった事故で、自転車相互事故は1件とする  
 ※自転車事故構成率は全ての人身事故を母数とする

# ～ 年齢層別の自転車が関係する人身事故の推移 ～

年齢層別では15歳～19歳、20歳～24歳の若年層が自転車関係する事故の当事者となりやすい。

年齢層別の人身事故発生状況 ※第1又は第2当事者となった自転車運転者の数

(人)

	0～4歳	5歳～9歳	10歳～14歳	15歳～19歳	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～59歳	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳以上	合計
R7		19	86	264	74	44	41	46	55	49	49	51	45	25	23	82	953
R6		22	83	197	88	59	58	42	37	43	62	60	36	26	23	89	925
R5		29	89	244	110	73	69	61	52	63	54	40	22	31	34	71	1,042
R4		23	78	196	108	63	62	54	47	47	50	50	36	30	30	57	931
R3		13	81	232	100	79	50	42	63	65	52	47	36	36	38	60	994

過去5年とも若年層が多い



各年の人口10万人当たりの人数を算出

人口10万人当たりの人身事故発生状況

(人)

	0～4歳	5歳～9歳	10歳～14歳	15歳～19歳	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～59歳	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳以上
R7	0	17.24	69.25	206.22	54.09	33.44	30.56	31.25	33.75	26.01	22.6	28.57	28.2	15.78	12.84	16.96
R6	0	19.27	65.85	153.72	64.22	44.28	42.89	27.76	22.31	21.62	29.24	34.52	22.67	16.22	11.78	19.06
R5	0	24.69	70.02	190.03	80.14	54.45	50.2	39.38	30.54	30.25	26.27	23.75	13.74	18.89	16.35	15.74
R4	0	19.13	60.9	152.6	78.61	46.72	44.06	34.11	26.85	21.8	24.87	30.88	22.56	17.56	13.51	13.19
R3	0	10.56	63.15	177.45	71.02	57.55	34.32	26.04	34.5	29.54	28.02	28.18	22.25	20.12	17.48	14.1

過去5年とも若年層が多い

10歳～24歳代の件数が多く、15歳～19歳が最も多い傾向にある。高齢者については人口10万人当たりになると人数は少ない。

※参考 広島県住民基本台帳における広島県人口

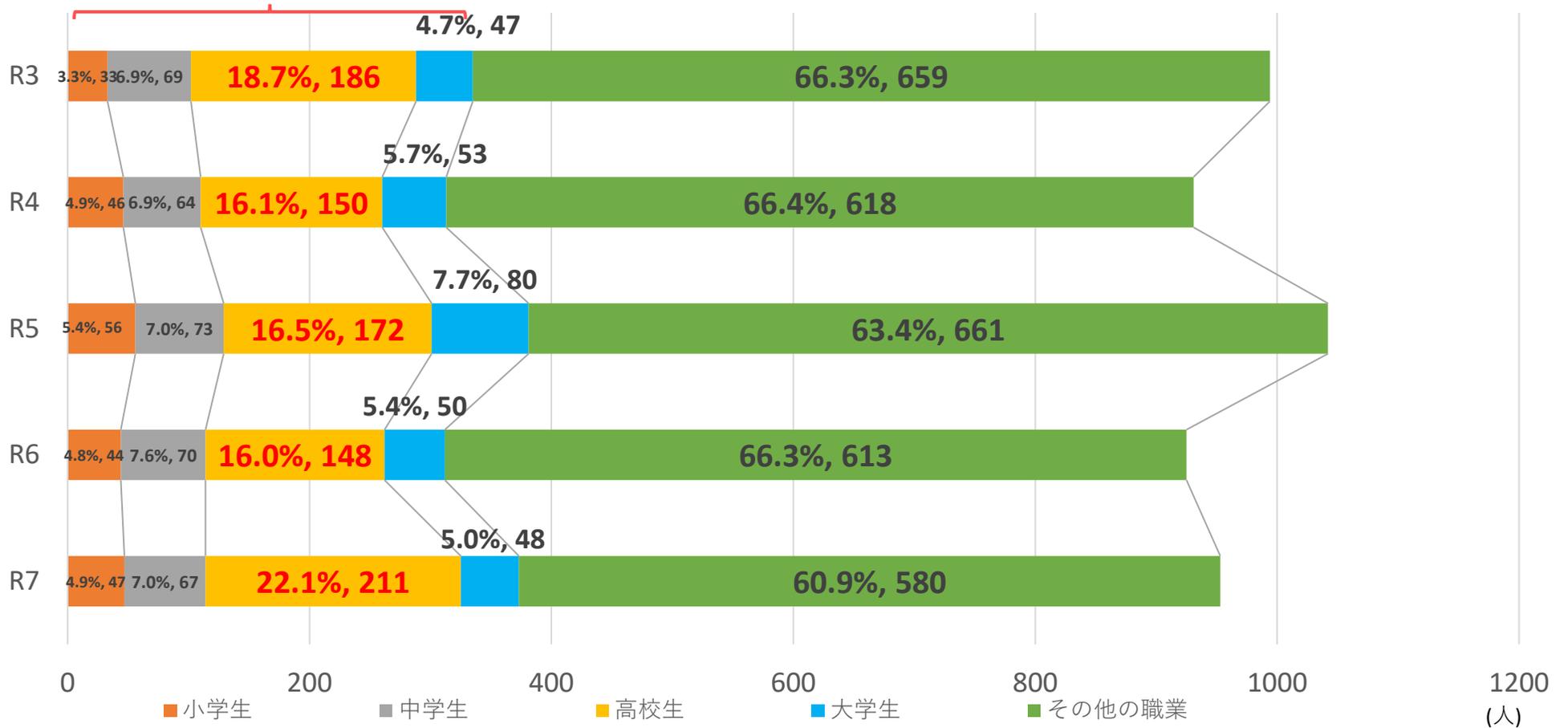
	0～4歳	5歳～9歳	10歳～14歳	15歳～19歳	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～59歳	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳以上	合計
R7.1	89167	110189	124183	128021	136802	131568	134174	147220	162946	188377	216847	178514	159584	158434	179145	483600	2,728,771
R6.1	93392	114174	126046	128151	137021	133251	135220	151308	165816	198905	212062	173813	158782	160265	195293	467041	2,750,540
R5.1	98100	117434	127099	128400	137261	134062	137439	154919	170272	208263	205586	168386	160172	164124	207958	451095	2,770,570
R4.1	102331	120220	128071	128439	137388	134856	140723	158328	175025	215561	201011	161910	159583	170845	222087	432270	2,788,648
R3.1	106573	123058	128271	130740	140808	137266	145698	161275	182608	220065	185573	166771	161830	178916	217400	425581	2,812,433

# ～ 職業別の自転車に関係する人身事故の推移 ～



小学生・中学生・高校生・大学生で全体の約4割を占めており、  
 その中でも**高校生が関係する自転車事故が多い**。

小学生・中学生・高校生・大学生



※第1又は第2当事者となった自転車運転者の数

# ～ 死亡・重傷を負った自転車運転者の推移 ～



自転車運転中に死亡・重傷を負った運転者は、75歳以上の高齢者が多く、次いで15～19歳が多い。また、人口10万人当たりの人数に換算すると、15～19歳が特に多い。

死亡・重傷を負った自転車運転者の人数

※第1又は第2当事者となった自転車運転者の数

(人)

	0~4歳	5歳~9歳	10歳~14歳	15歳~19歳	20歳~24歳	25歳~29歳	30歳~34歳	35歳~39歳	40歳~44歳	45歳~49歳	50歳~54歳	55歳~59歳	60歳~64歳	65歳~69歳	70歳~74歳	75歳以上	合計
R7	0	3	16	26	7	7	9	7	7	10	6	13	8	8	9	49	185
R6	0	3	16	23	11	9	3	1	3	12	12	15	11	11	10	31	171
R5	0	2	13	27	12	7	8	10	10	17	11	17	8	9	12	32	195
R4	0	5	8	24	10	4	4	7	6	15	10	19	7	9	10	24	162
R3	0	2	16	29	16	10	4	3	15	18	13	20	15	15	10	34	220



各年の人口10万人当たりの人数を算出

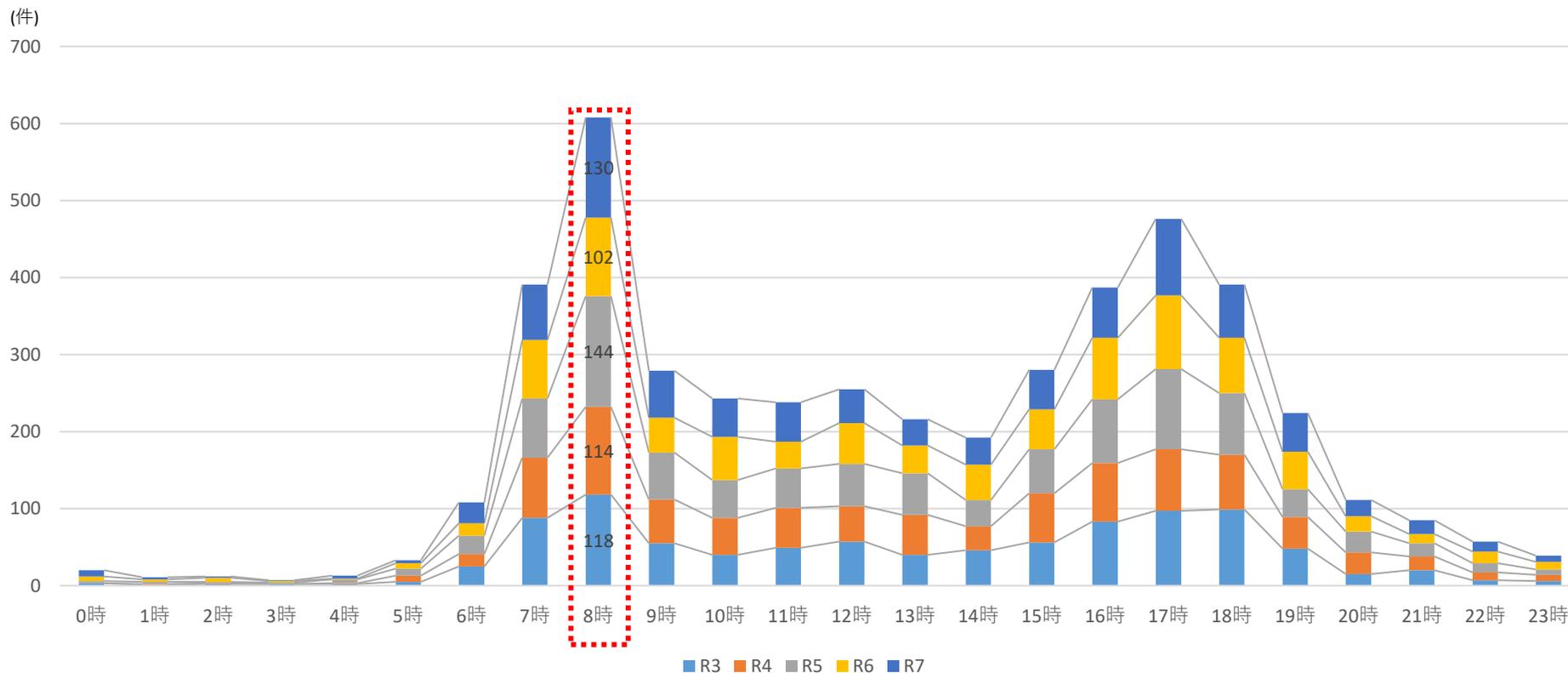
人口10万人当たりの死亡・重傷を負った自転車運転者の人数

(人)

	0~4歳	5歳~9歳	10歳~14歳	15歳~19歳	20歳~24歳	25歳~29歳	30歳~34歳	35歳~39歳	40歳~44歳	45歳~49歳	50歳~54歳	55歳~59歳	60歳~64歳	65歳~69歳	70歳~74歳	75歳以上
R7	0	2.72	12.88	20.31	5.12	5.32	6.71	4.75	4.3	5.31	2.77	7.28	5.01	5.05	5.02	10.13
R6	0	2.63	12.69	17.95	8.03	6.75	2.22	0.66	1.81	6.03	5.66	8.63	6.93	6.86	5.12	6.64
R5	0	1.7	10.23	21.03	8.74	5.22	5.82	6.45	5.87	8.16	5.35	10.1	4.99	5.48	5.77	7.09
R4	0	4.16	6.25	18.69	7.28	2.97	2.84	4.42	3.43	6.96	4.97	11.73	4.39	5.27	4.5	5.55
R3	0	1.63	12.47	22.18	11.36	7.29	2.75	1.86	8.21	8.18	7.01	11.99	9.27	8.38	4.6	7.99

# ～ 自転車に関係した事故の発生時間帯 ～

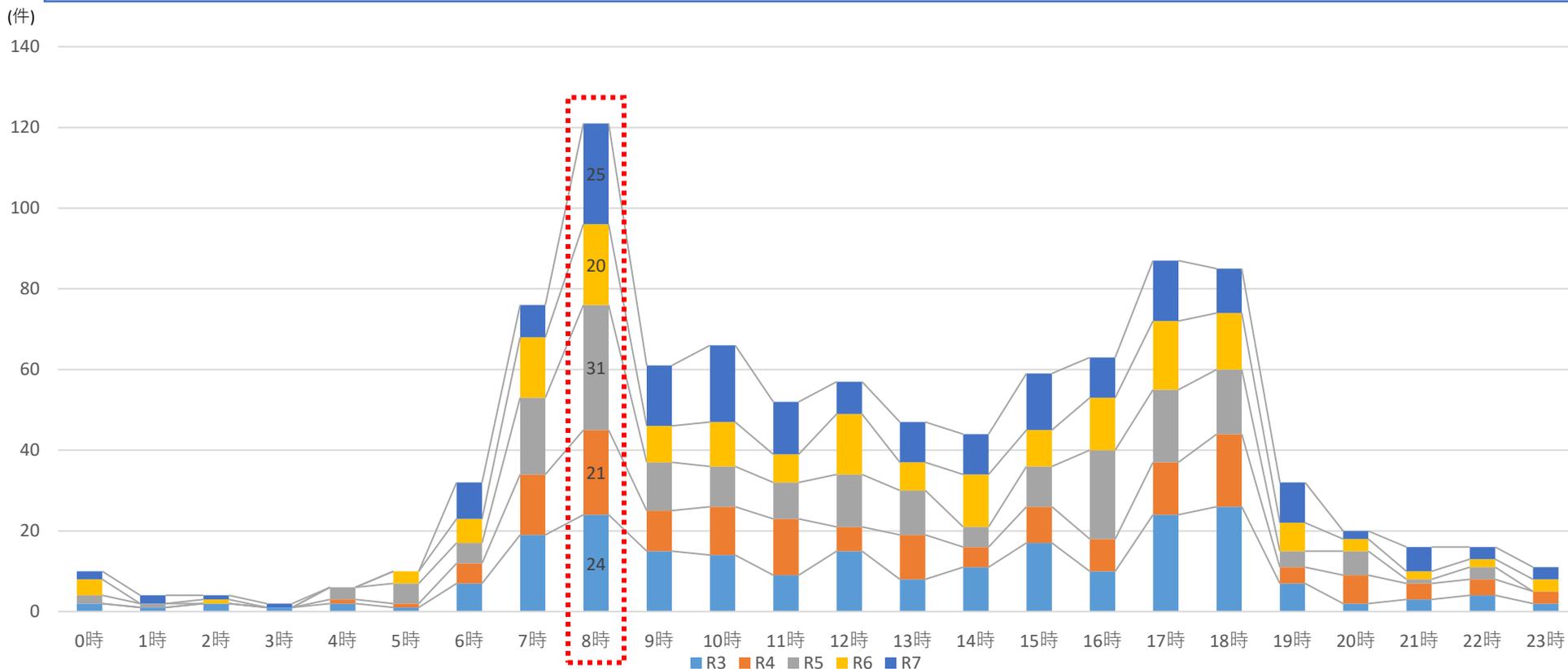
自転車に関係するすべての事故は 8 時台が多く発生しており、令和 7 年も 8 時台の発生が最多となった。



※第 1 又は第 2 当事者が自転車運転者となった事故で、自転車相互事故は 1 件とする

# ～ 自転車に関係した重傷・死亡事故の発生時間帯 ～

自転車に関係した死亡・重傷事故は8時台の発生が多い傾向にあり、令和7年も8時台の発生が最多となった。



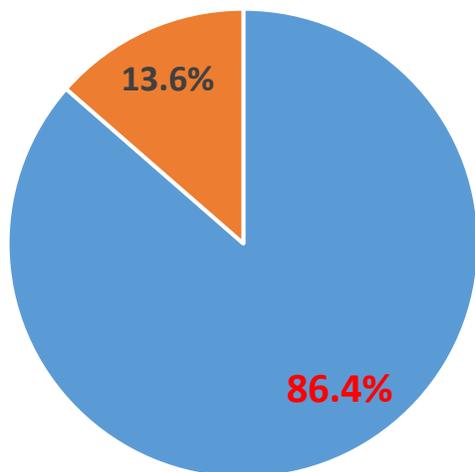
	0時	1時	2時	3時	4時	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	合計
R3	2	1	2	1	2	1	7	19	24	15	14	9	15	8	11	17	10	24	26	7	2	3	4	2	226
R4	0	0	0	0	1	1	5	15	21	10	12	14	6	11	5	9	8	13	18	4	7	4	4	3	171
R5	2	1	0	0	3	5	5	19	31	12	10	9	13	11	5	10	22	18	16	4	6	1	3	0	206
R6	4	0	1	0	0	3	6	15	20	9	11	7	15	7	13	9	13	17	14	7	3	2	2	3	181
R7	2	2	1	1	0	0	9	8	25	15	19	13	8	10	10	14	10	15	11	10	2	6	3	3	197

※第1又は第2当事者が自転車運転者となった事故で、自転車相互事故は1件とする

# ～ ヘルメットの着用状況（令和7年中） ～

- ヘルメットの着用率は13.6%。
- ヘルメット非着用者で死亡・重傷の158人のうち19.0%となる30人が頭部の損傷が負傷の原因となっている。
- ヘルメット非着用の死者10人のうち4人が頭部の損傷が死亡の原因となっており、**全員がヘルメットをかぶっていれば負傷が軽減されていた可能性がある。**

## ヘルメット着用率

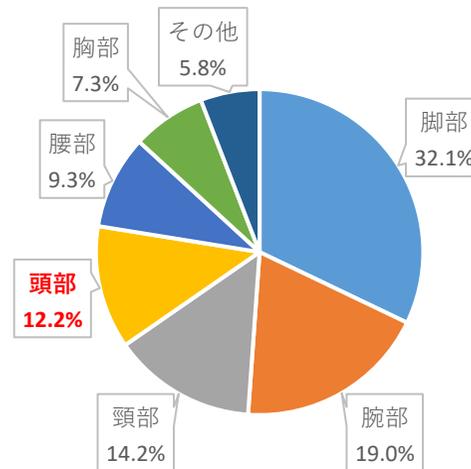


■ ヘルメット非着用 ■ ヘルメット着用

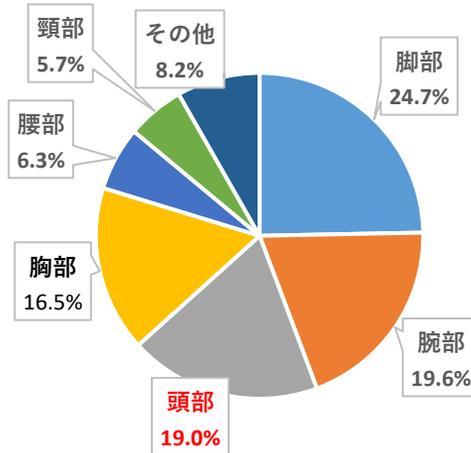
※第1又は第2当事者となった自転車運転者で、負傷のないものを含む（着用不明は除く）

ヘルメットで頭部を守りましょう。

## ヘルメット非着用の全負傷者



## ヘルメット非着用の死亡・重傷者

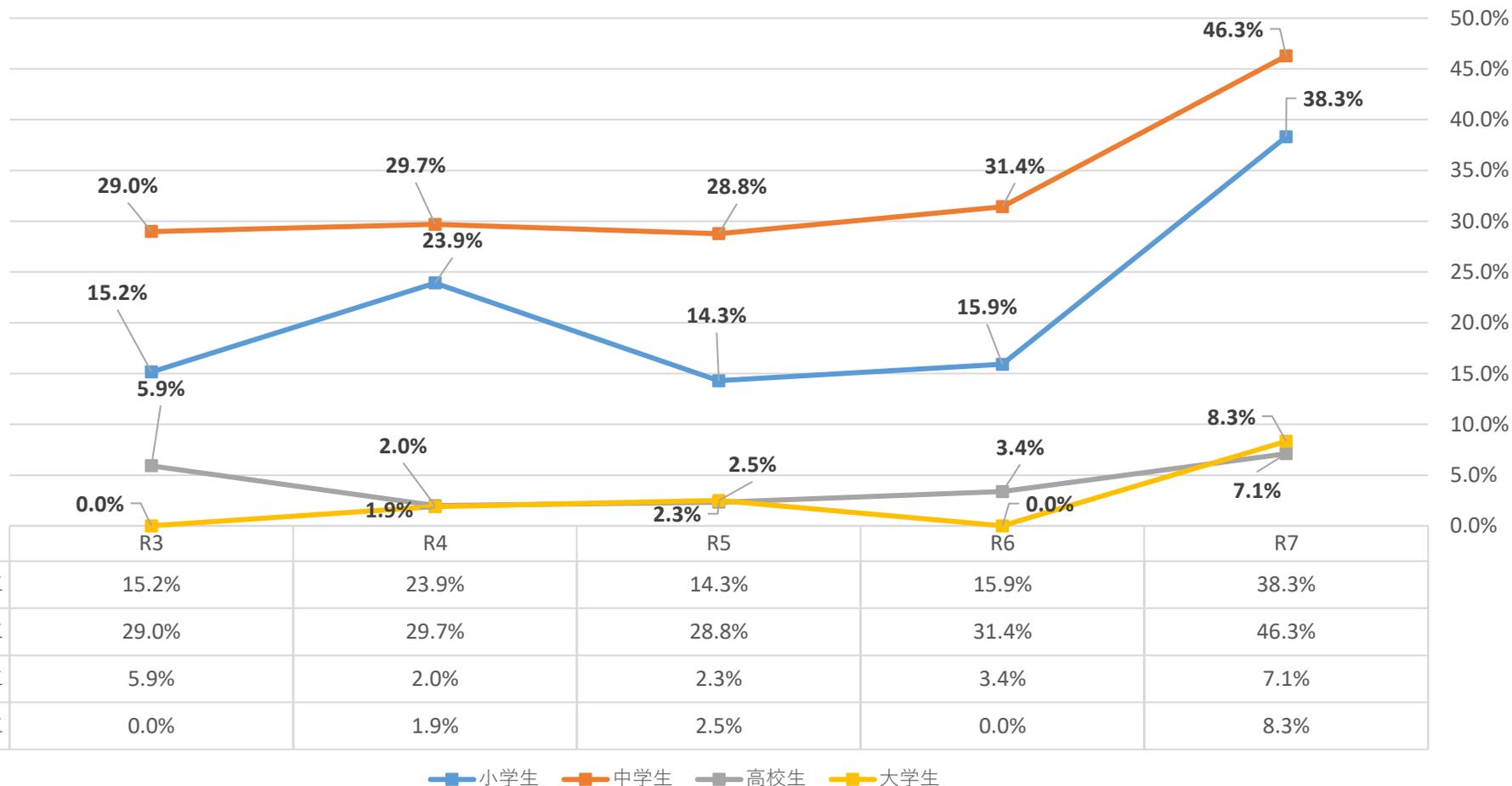


※第1又は第2当事者となった自転車運転者で、負傷のないものを含む（着用不明は除く）

# ～ 若年層のヘルメット着用状況（令和7年中） ～

令和7年は、ヘルメットの着用率が増加したが、小中学生に比べて、高校生と大学生の着用率が低調なままである。

## 各年の若年層のヘルメット着用状況



※第1又は第2当事者となった自転車運転者で、負傷のないものを含む（着用不明は除く）